

ひょうごらくのうメモ

4

2024APR



表紙:『小屋にいるモー』淡路市 佐藤 丈路さん
第41回 らくのうひょうごフェスティバル・絵画コンクール より

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

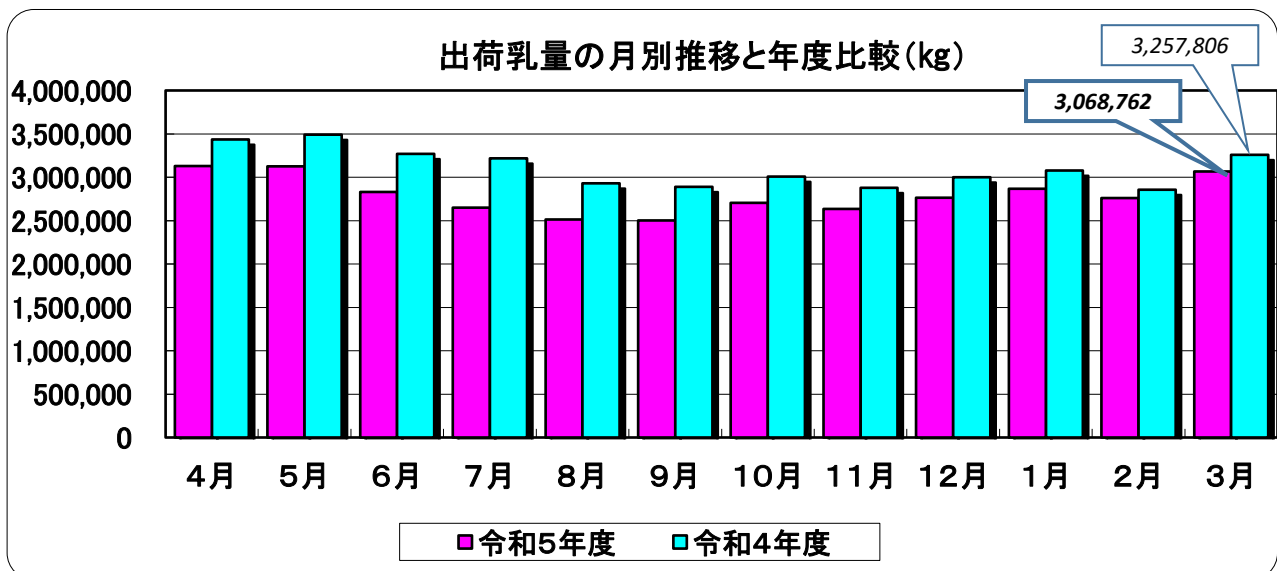
生乳生産統計

1. 全国(令和6年2月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	5年	4月	628.0	95.6
令和	5年	5月	648.9	95.6
令和	5年	6月	619.2	96.3
令和	5年	7月	616.5	95.5
令和	5年	8月	590.1	94.1
令和	5年	9月	573.4	94.6
令和	5年	10月	597.8	96.1
令和	5年	11月	578.9	97.0
令和	5年	12月	609.1	98.1
令和	6年	1月	620.6	99.4
令和	6年	2月	594.1	104.1
令和	6年	3月		
令和	5年度	累計	6,677.5	96.9

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 6年3月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	
阪神地区	549,113	95.8	6,244,729	90.0	19
播州地区	371,406	77.0	4,233,063	68.3	15
丹但地区	271,984	83.2	3,180,437	84.7	13
淡路地区	1,876,259	100.1	19,907,104	97.4	79
合 計	3,068,762	94.2	33,565,333	89.9	126



理事会報告

令和6年3月25日(月)、第9回理事会をWEB会議方式により理事4名、監事2名の出席のもと開催した。組合長挨拶の後、令和5年度生乳計画生産進捗状況、令和5年度12月・1月起点限定決算、令和6年2月1日戸数・頭数調査結果、令和5年度組合員の異動状況について報告。次の事項について協議した。

- ① 丁場理事辞任に伴う補欠選任について
辞任届を受け、役員推薦会議を行い6年度通常総会において補欠選任を行う事を決定した。
- ② 第三者経営継承に伴う新規組合員の加入承認について
加入申込を受理、組合員としての加入を承認した。
- ③ 組合本所ビジネスフォンの更新について
設立時に導入したビジネスフォンを更新することを決定した。
- ④ 第9回通常総会の開催日程について
令和6年度・第9回通常総会の開催を6月27日(木)、西神文化センター4階 大ホールにおいて行う事を決定した。

その他として、業務改善内容、出荷前検査内容の変更について、令和6年度生乳受託契約覚書の締結について詳細を確認した。

4月

16日 岩崎税理士事務所税務監査

22日 兵庫県民農林漁業祭監査

内部管理職会議

26・27日 2024セントラルジャパンホルスタインショウ
(静岡県御殿場)

5月

1日 職員会議(WE B)

17日 令和5年度決算監査会

29日 兵庫県畜産協会理事会(農業会館)

※ 役員候補者推薦会議 5月上旬調整

◆ 主な行事予定 ◆

参考情報

淡路家畜市場情報

令和6年3月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			F1 スモール	メス	今回	14	65,529	104,500	8,800		
前回	13	84,700			123,200	46,200			56	-19,171	-22.6%
前年	9	88,122			214,500	60,500			53	-22,593	-25.6%
オス	今回	9		113,178	147,400	61,600			57		
	前回	17		79,847	145,200	12,100			56	33,331	41.7%
	前年	15		112,493	232,100	40,700			54	685	0.6%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			ホルス スモール	メス	今回						
前回											
前年											
オス	今回										
	前回	1		18,700	18,700	18,700			56	-18,700	-100.0%
	前年	4		19,800	27,500	12,100			52	-19,800	-100.0%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は令和6年2月第4金曜日・前年は令和5年3月第2金曜日

令和6年3月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			F1 スモール	メス	今回						
前回	14	65,529			104,500	8,800			58	-65,529	-100.0%
前年	12	115,317			183,700	31,900			56	-115,317	-100.0%
オス	今回										
	前回	9		113,178	147,400	61,600			57	-113,178	-100.0%
	前年	11		111,100	226,600	2,200			55	-111,100	-100.0%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			ホルス スモール	メス	今回						
前回											
前年											
オス	今回										
	前回										
	前年	6		11,550	19,800	1,100			48	-11,550	-100.0%
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前回は令和6年3月第2金曜日・前年は令和5年3月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669	
5	1	15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
	2	15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
	3	32,237	49	30,240	53	10,633	12	51,012	6,592
	4	34,608	39	43,205	90	47,594	15	58,915	5,810
	5	65,572	36	67,518	79	50,008	13	69,390	6,043
	6	67,793	27	74,466	79	59,620	5	76,121	6,049
	7	52,833	33	60,202	74	11,000	1	64,051	5,771
	8	31,746	57	28,792	138	取引なし		38,962	6,771
	9	15,620	45	17,446	107	20,411	9	32,738	5,721
	10	16,375	53	15,531	84	3,713	8	45,190	5,949
	11	18,925	44	24,182	123	6,160	5	55,887	5,995
	12	26,865	26	22,490	83	11,367	6	54,285	5,685
6	1	30,056	34	38,463	90	取引なし		46,203	5,796
	2	33,259	34	33,658	92	14,300	4	46,549	5,562
	3	36,770	49	29,348	103	31,625	4	50,541	5,500
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638	
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3	123,802	587	117,235	331	158,154	197	102,795	15,544
	4	157,892	531	138,296	315	195,491	203	111,958	14,394
	5	188,398	436	177,927	221	219,636	127	123,340	14,179
	6	204,456	298	202,847	271	250,721	111	139,965	13,253
	7	190,503	353	184,677	242	239,165	97	128,267	13,148
	8	131,660	527	123,996	394	152,514	74	86,471	16,037
	9	89,548	562	92,832	339	156,607	135	72,652	15,330
	10	81,329	653	74,372	339	112,121	140	69,375	16,525
	11	77,949	545	82,405	370	109,956	147	76,318	16,520
	12	82,404	607	82,359	335	131,580	144	73,165	16,178
6	1	96,405	549	93,851	244	116,838	139	71,742	15,916
	2	105,955	496	106,128	402	139,177	143	89,564	15,252
	3	124,959	434	118,804	294	172,915	128	107,578	14,641
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

令和6年3月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛 (牝・牝系・他)				初妊牛 (牝・牝系・他)				経産牛 (牝・牝系・他)			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
十勝	3/1					558	1,279	300	707	52	614	198	429
豊富	3/8					288	816	198	606	7	395	223	272
根室	3/8	141	499	55	301								
十勝	3/11	439	596	3	373								
十勝	3/14					716	994	330	725	67	724	88	442
北海道	3/15	94	498	37	348	96	928	321	702	12	521	270	417
北見	3/20					348	999	290	658	6	299	171	230
根室	3/21					519	979	339	687				
釧路	3/22					314	865	275	632	3	296	165	209
豊富	3/28	284	463	48	326								
合計	10回	958	596	3	346	2,839	1,279	198	683	147	724	88	414
前年同月成績	10回	624	440	4	253	3,167	1,311	100	592	237	722	70	290
前月合計成績	11回	1,087	620	6	374	3,118	1,005	147	673	170	761	122	409

ホクレン乳牛市場開催日程

4月8日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更)	5月13日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更)
4月11日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更) 育成	5月15日(水)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更) 育成
4月12日(金)	ホクレン北海道家畜市場 (安平)	5月17日(金)	ホクレン北海道家畜市場 (安平)
4月12日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間) 育成	5月24日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊富)
4月15日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛) 育成	5月27日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間)
4月19日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊富)	5月28日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更)
4月22日(月)	ホクレン根室地区家畜市場 (中標津)	5月29日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛)
4月23日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場 (大楽毛)	5月30日(木)	ホクレン根室地区家畜市場 (中標津)
4月24日(水)	ホクレン十勝地区家畜市場 (音更)	5月31日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場 (豊富) 育成
4月25日(木)	ホクレン北見地区総合家畜市場 (佐呂間)		

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所 (問合せ先)

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和6年4月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況	祝
札幌管内	育成牛(10-12月令)	3.0~4.0	横這い	札幌管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で94.4%、累計で96.7%、累計で93.1%の実績となっております。	
	初妊牛	6.0~7.0	横這い	4月の初妊牛動向といたしまして、6月中旬~7月分産中心となり、管内外ともに初妊牛への需要が高まってきており、市場においても堅調な動きが継続していることから、横這いになると予想されます。4月に入ると、夏分産が出回り始めることから、資源が回復してきますが、雌雄選別腹は引き続き出回り資源が少ないと予想されます。管内随先購買につきましては、高能力牛が多い地域であることから、優良血統や高能力牛をご案内できると思っていますので、よろしくお願いたします。	
	経産牛	4.5~5.5	横這い	根柢管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で101.4%、累計で96.9%、中標津管内月計で102.8%、累計で97.9%の実績となっております。	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	3.5~4.5	横這い	4月の初妊牛動向といたしまして、6月中旬の分産中心となります。管内における牛の引き合いが強くなり、夏分産に近づく腹の出回り資源となりますが、前月の高値を維持し、横這いで推移するものと見込まれます。腹別における価格推移としては、F1腹・雌雄選別腹は堅調に推移するものと思われ、和牛受胎期移腹はやや軟調に推移するものと思われ、和牛受胎期可能な育成牛や受胎した経産牛も需要があり、こちらも横ばいで推移するものと見込まれます。	
	初妊牛	6.5~7.5	横這い	帯広管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で101.6%、累計で96.1%の実績となっております。	
	経産牛	5.0~5.5	横這い	4月の初妊牛動向といたしまして、6月中旬~7月分産が中心となります。資源不足であった5月分産腹の引き合いが強くなり、道内外からの需要が高まっています。夏分産以降は資源が回復するため、やや弱含みに推移するものと見込まれます。腹別の資源状況は、引き続き雌雄選別腹が少なく、F1腹については、ギガファームの引き合いが強くなり堅調な相場となっております。和牛受胎期移腹につきましましては、血統による価格差が大きくなっています。また、産次数が少なく即戦力となる経産牛につきましましては、道内を中心に引き合いが強くなっています。	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	3.7~4.7	横這い	道北管内の3月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で97.7%、累計で95.5%、北見管内月計で102.4%、累計で96.5%の実績となっております。	
	初妊牛	6.3~7.3	やや弱含み	4月の初妊牛動向といたしまして、6月中旬~7月分産が中心となります。分産が近い牛ほど引き合いが強くなると思われ、横這いで推移するものと見込まれます。雌雄選別腹については、自家保有する酪農家が多い傾向から、出回り資源が少ない状況が続いています。生乳生産意欲が高まっているため、来春分産に期待できる育成牛と、即戦力で期待が持てる経産牛の需要も引き続き高いまま見込まれます。	
	経産牛	5.0~5.5	横這い	道内の3月中旬までの生乳生産量前年比は100.9%、累計で96.5%の実績となっております。北海道では、順調に雪解けも進み、畑作業も始まる季節となっております。	
道北管内	育成牛(10-12月令)	3.5~4.5	横這い	4月の初妊牛動向といたしまして、6月中旬~7月分産中心となり、夏分産が出回り始めます。各地域、春分産の資源が少なく高値で推移しており、4月まではその影響を受けると見込まれます。今後は授精の幅から資源も豊富となる見込みであり、相場はある程度落ち着くのではないかと思われ、道内では生乳生産回復に向けて後継牛を確保する動きもみられます。例年通りの夏分産相場となるかは予想が難しく、今後の動向を注視してまいります。今年度につきましましては、随先選畜購買を中心に優良控乳業牛を導入してまいりますので、導入計画がございましたらお早めのご注文を宜しくお願致します。	
	初妊牛	6.0~7.0	横這い		
	経産牛	4.8~5.8	横這い		
道内総括	育成牛(10-12月令)	3.5~4.5	横這い		
	初妊牛	6.5~7.5	横這い		
	経産牛	5.0~5.5	横這い		

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の随先選畜購買による予想相場です。

随先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
011-241-0765

《各事務所電話番号》
釧路事務所 0154)52-1232
根室駐在員事務所 0153)76-1877
帯広事務所 0155)37-6051
道北事務所 0165)2-2368

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一顧下さい。
担当がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

令和6年4月10日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

現在も北米西海岸航路は乗継航路を含めて主要な本船スケジュールに乱れが発生しており、状況は好転していません。また、一時的に中国発着貨物の流通量が旧正月の影響で低下し、スケジュール調整を行うために間引き運航をしたことで、米国西海岸へ到着する本船が少なく、空コンテナ不足が発生しています。今後はゴールデンウィーク需要に向けて貨物の増加が見込まれており、船腹予約の難航や慢性的な空コンテナ不足が発生する可能性もあるため、注視が必要です。

降水量不足の懸念があるパナマ運河では引き続き通行する船舶の隻数の制限を行っていますが、パナマ運河庁（ACP）は段階的に緩和する措置を発表しています。

スエズ運河近くの紅海ではイエメンの親イラン武装組織フーシ派による商業船への攻撃が続き、状況は好転しておらず、物流の混乱による影響で世界経済にも打撃を与えています。

また、3月26日には米国メリーランド州のボルティモア港付近に位置するフランス・スコット・キー・ブリッジにコンテナ船が衝突する事故が発生しました。各船社はボルティモア港を寄港する航路において今後1ヶ月間は抜港（本船が寄港する予定を取りやめる）することを決定しています。ボルティモア港で扱う貨物は石炭や自動車を中心のため、北米西海岸への輸出入や航路変更は限定的であり、輸入粗飼料への影響はない見通しです。

ビートパルプ

【米国】

主産地であるノースダコタ州やミネソタ州では4月に入り製糖作業を終了する工場が出始めています。産地では3月に冷気が流れ込み気温が一時的に下がりましたが、4月は例年より温暖な気候になることが予想され、品質劣化により屋外で保管されている砂糖大根の廃棄量が増加する可能性もあり、生産量の減少が懸念されています。

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるコロンビアベースンでは、冷涼な気候が続いていますが生育は順調で、5月中旬から南部で24年産1番刈の収穫作業が開始される見込みです。

一部の生産農家では降雨や降雪により品質が劣化した輸出向けには適さない低級品在庫を抱えています。生産農家は23年産の価格が軟化したことにより期待していた利益を確保することが出来ず作付意欲が低下していますが、年間を通して上級品不足であったことから、24年産の作付面積は前年比で同水準程度の見通しです。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは、降雨の影響で1番刈の収穫作業に遅れが発生しています。降雨の影響で刈取り適期を逃した中級品中心の発生となったため、高成分品質を求める中国や中東からの引き合いも弱く、米国内の乳価も低迷していることから需要は停滞しています。

産地当局から発表された、3月15日付けのインペリアルバレーにおけるアルファルファの作付面積は前年同期比95%となる145,569エーカーとなっています。

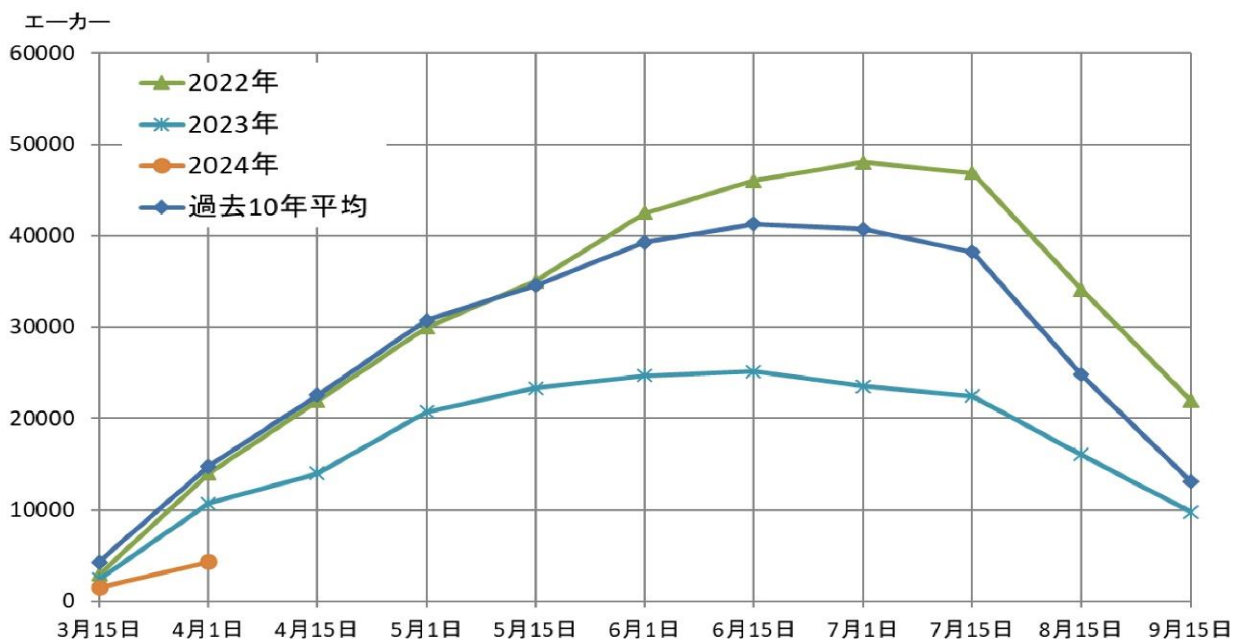
米国産チモシー

23年産の産地相場は22年産高値の影響で下落しましたが、農作物全般の価格も低水準で推移しているため、主産地であるワシントン州コロンビアベースン及びエレンズバーグでの作付面積は前年並になることが予想されています。23年産の産地での在庫状況は悪天候により上級品の発生が限定的だったこともあり未成約在庫はなく、低級品については輸出に不適合な在庫のみある状況です。

スーダングラス

カリフォルニア州南部のインペリアルバレーでは早播きスーダンの播種を開始しています。産地当局の発表によると4月1日時点での作付面積は4,366エーカー(昨年同時期10,678エーカー)、前年同時期比41%と大幅に減少していますが、競合作物である小麦の作付面積は増加しています。23年産価格の軟化や日本の需要減少により、生産農家の作付意欲が低下していることが要因と考えられますが、23年産の在庫に加え、未だに22年産の旧穀在庫を抱えている輸出業者もいるため作付面積減少による供給力に懸念はありません。今後の相場次第ではスーダンの作付面積も増加する可能性もあるため注視が必要です。

産地在庫の多くは昨夏のハリケーンや降雨による雨当たり品や日焼けにより茎が固くなってしまった輸出向けには適さない米国内肥育農家向けです。



インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移 (単位：エーカー)

クレーングラス (クレーンは全酪連の登録商標です)

現在産地では多くのクレーングラスの圃場で水入れが開始されています。順調に生育すれば、新穀の収穫作業は4月末から5月上旬に開始される見込みです。

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーにおける3月15日時点の作付面積は21,438エーカー (前年同期22,033エーカー) となっており、先月に続き、前年同期比97%と減少しています。作付面積は今後の相場次第ですが、昨年並みから微減の見込みです。

日本や韓国向けは低水準ではあるものの安定的に出荷されています。米国内ではミード湖の水位上昇による水不足の解消や、干ばつ状況も緩和され価格は軟化しましたが、乳価が低迷していることから引き合いは少なく推移しています。

バミューダ

主産地であるインペリアル郡灌漑局の発表によると、3月15日時点での24年産の作付面積は65,715エーカー (前年同期：64,722エーカー) と前年比102%と前年より増加しています。例年春先は種子向け中心の収穫が行われ、牧草の収穫は夏場から本格化します。種子価格は依然高止まりで推移しており、今後の相場次第で、生産農家は牧草生産か種子生産のどちらで利益を多く得られるかを選択する可能性があるため、動向には注視が必要です。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区、南部レスブリッジ地区では降雨も少なく温暖な気候が続いています。一部では土壌の水分状態を危惧する声も出ています。

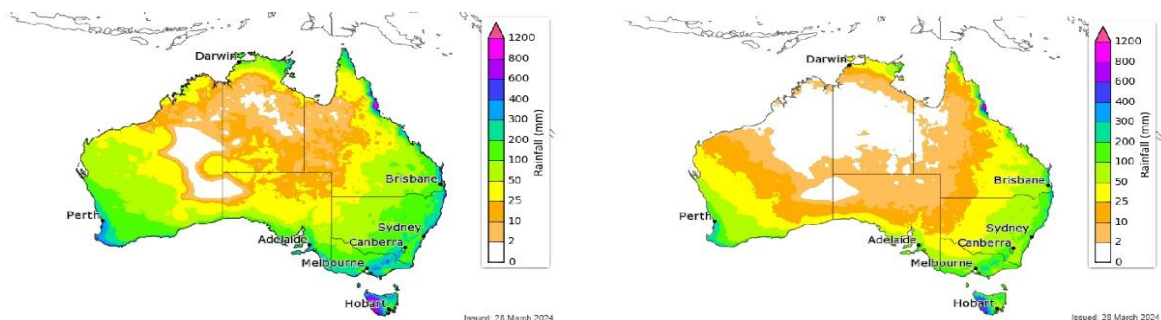
23年産は干ばつの影響によりカナダ国内の乾草も不足したことで需要は堅調に推移しましたが、暖冬の影響で採食量の増加も緩やかなため、引き合いは例年より少なくなっています。カナダ国内と輸出向け需要の減退により作付面積は減少する見通しです。

豪州産オーツハイ・ウィートストロー

豪州では高温な気候が続き、強風や山火事が発生した影響で、輸出業者の工場への原料草の搬入や出荷作業の遅延が発生しています。現在、24年産の播種前に輸出業者と生産農家の間でオーツハイ買付けにおける仮契約の交渉が進められていますが、作付面積は昨年と同程度の見通しと予想されています。

輸出向け需要について韓国や台湾向けは安定しています。中国は旧正月の影響で一時的に輸出量が減少しましたが、輸出認可が更新されて以降、月を重ねるごとに増加している状況です。

下図は豪州の気象庁による4月から6月の例年の降水量と24年4月から6月の降水量予測ですが、夏場の乾燥した気候の影響もあり今後3ヶ月を通して北部地域では2mm以下の降水量予測も多く、平年を下回る降水量になることが予想されています。播種時期に降雨が少ないとその後の生育に影響を与えることから今後の動向を注視する必要があります。



出典：The Australian Bureau of Meteorology より

(左) 例年4月-6月までの降水量

(右) 24年4月-6月までの降水量予測

豪州コンテナ船情勢

Maritime Union(港湾労働者組合)と DP World termin

a 1 (港湾施設) 間での労使交渉は終了し豪州の各港は通常運転となっておりますが、スエズ運河近くの紅海問題によりアジア各地の乗継港における遅延は続いています。

以上